

- ▶ 備前市では、森林所有者の高齢化や施業意欲の減退により、手入れ不足の人工林が増加し、土砂災害等の発生の危険性が高まりつつあることから、森林経営管理制度に基づく取組を進め、間伐等の森林整備を推進する方針である。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組を行った。
 - ・ 備前市森林経営管理制度の取組方針の作成。
 - ・ 市広報誌により森林所有者への情報提供を行い、制度の普及に努めた。
 - ・ 市内にモデル地区を設置し、その中で私有林（スギ・ヒノキ人工林5.4ha）において、経営管理意向調査を実施し森林整備箇所の把握に繋がった。令和2年度においては、28haの意向調査を実施する予定。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- ・ 市内のスギ・ヒノキ人工林5.4ha（6筆、1名分）の森林現況調査を実施し、森林所有者へ今後の森林経営管理の意向を調査。

【事業費】 308千円（うち譲与税308千円）

【実績】 5.4ha

□ 事業スキーム

- 1 森林所有者への意向調査の実施

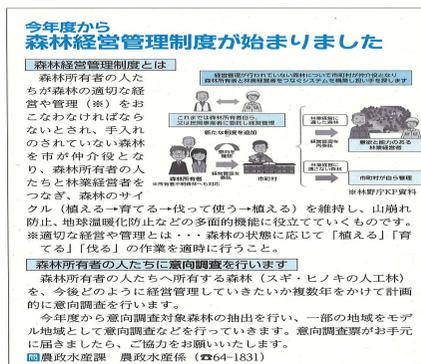


□ 工夫・留意した点

- ・ 備前市森林経営管理制度の取組方針に沿って意向調査等を実施した。



（事業1：森林現況調査の様子）



（市独自：広報誌への掲載）

①令和元年度譲与額	3,498千円
②私有林人工林面積（※1）	1,739ha
③林野率（※2）	80%
④人口（※3）	35,179人
⑤林業就業者数（※4）	4人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より